

# エコタウンえどがわ推進本部 第5回本部会議 要旨

日時：平成22年7月12日（月）

午前10時30分 開会

場所：江戸川区役所（西棟4階）

第1委員会室

## 1 本部長挨拶（区長）

## 2 地球温暖化対策の動向（事務局）

二酸化炭素削減の目標（国・江戸川区）及び25%削減に必要な対策等について。  
国の補助制度、太陽光発電の売電制度について。

## 3 報告事項

- (1) 「もったいない運動えどがわ」の進捗状況（事務局・佐々木本部員）
- (2) 今年度の取組
  - ① 「みどりのカーテン」モニター（佐々木本部員）
  - ② 省エネナビを使った省エネ行動推進事業（事務局）
  - ③ お月見キャンドルナイト2010（事務局）

## 4 意見交換

### ○ 本部員の発言（要約）

《各業界での取組みについて》

- ・ごみの発生源として商店街が一番多いと言われている。分別、節電など色々な部分でエコに取り組んでいきたいが、1件でも仲間を増やして、結果的に商売につながるような形にと考えている。
- ・事業所では、なかなか家庭のようにはいかないが、商工会議所でも機会を見つけて指導をしている。事業所も少しずつエコに対する姿勢が変わってきた。
- ・1つの取り組みでもいいので、各企業が毎日1分ずつでもやってもらえると、大きいと思う。

《地域でのもったいない運動について》

- ・今の時期は、地域で打ち水会を行っている。盆踊りの会場などで親水河川から水を汲んで撒いている。昨年、温度計で測ったところ3度くらい温度が下がった。親水河川に面した皆さんが打ち水を行うと地域がかなり涼しくなると思うので、勧めていきたい。
- ・区画整理が進み道路が広がったが、反射熱で地域が熱くなっている。雨水を貯水して天気のいい日に道路に撒いている。
- ・もったいない運動の一環としてフリーマーケットを行っているが、約100店舗に対し、申し込みが倍ぐらい来るようになっている。皆さん「もったいない」という意識を強く持つようになっていると思う。

- ・ペットボトルキャップ回収を進めていこうと考えている。
- ・地域で色々頑張っているが、まだ一般に知られていない部分が結構あるのではと思う。地域のおまつりなども大いに活用してPRしていきたい。
- ・連合町会の定例会で「もったいない運動」について皆さんに伝えている。
- ・地域まつりでバザーは、いつも盛況だが、売れ残った品物がごみになってしまう。最近はなるべく安くして、残りものが出なくなってきたが、古着の残りなどは外国人の方に再利用していただいている。
- ・ごみを1日100グラム減らすことについて、レジ袋1枚で何グラム減になるなど抜粋して町会の新聞に載せてアピールしたいと思っている。
- ・今年はエコキャンドル作りに挑戦してみようと思っている。

#### 《日々の生活の中でのもったいない運動について》

- ・みどりのカーテンを多く見ることができるようになり嬉しく思う。少しでも涼しくなるように皆さん競ってやっているようだ。
- ・「もったいない運動」は簡単なようで、あまりにも身近な問題なので、考えるということが皆さんに行きわたらないのではと思う。分っていてもなかなか出来ないのが事実なので、これからも周知していきたい。
- ・洗面した水はバケツに貯めて、トイレの水に使ったり、家族はなるべく家の1階に集中して過ごすなど、水や電気を大事に使うため、工夫している。
- ・車をハイブリッド車に変えたら、あまりにもガソリンを使わないので驚いている。皆さんにもエコカーに乗ってもらえればありがたいと思っている。
- ・「もったいない運動」は男性にはなかなか難しい部分もあるので、そこは女性に任せてもらえればと思う。
- ・主婦としては、ごみ減量が一番取り組みやすいエコの方法と思ってやっている。
- ・空豆の皮や、あさりの貝殻を叩いたものを植物の肥やしに利用しているが、花が生き生きとしてくるのがよく分かる。
- ・家の構造上、みどりのカーテンが出来ないので、代わりに簾を吊っている。窓はほとんど開けっ放しの状態で、冷房は年2回程度しかつけていない。
- ・「もったいない運動」は色々あるが、取り組んで楽しいのが大事だと思う。楽しいことは継続できるし、皆さんにもお勧めできる。

#### 《もったいない運動を子どもたちに広めるために》

- ・学校エコチャレンジを去年から実施している。去年より今年という形で、各家庭にも声掛けして成果を上げていこうと思っている。
- ・みどりのカーテンは、年によって成長が難しいこともあるが、色々な植物にチャレンジしている。
- ・キッズマイバッグコンクールの参加校も増えてきている。子どもたちの作品も随分向上してきたと感じる。
- ・屋上緑化の一部に、子どもたちが植えるコーナーを設けている。今年はサツマイモにチャレンジする。
- ・すくすくスクールで、子どもたちに紙のリサイクルの話をしている。書き損じをリサイクル箱に入れるように教えるなどしている。
- ・子どもたちは、やがて大人になり生活しながら社会に貢献していくと思うが、そういう意味では、意識づけの非常に大事な時期と思っている。

- ・保健や家庭科の授業で公害の勉強をする。それに基づいて実際どんな行動をしたらいいのかを子どもたち自身に考えさせている。委員会や係活動の中でも、学校の節約をするにはどうすればいいのか考えて実践させている。
- ・6月に1週間エコチャレンジをやった結果、子どもたちがかなり意識を持つようになった。使われていない物を見つけたら電源コードを抜いたり、スイッチを消すなど、効果のあった1週間だったと思う。これからも続けていきたい。
- ・幼稚園協会やPTA連合会で、エコセンターに来てもらいエコの話をしている。
- ・幼稚園に藤棚が100坪以上あり、子どもたちが日陰で遊べる状態を作っている。
- ・小、中学生のポイ捨てを見て注意したことがある。幼稚園の子には面倒くさいという価値観があまり無いので、親が一生懸命にここは捨てちゃいけないと教えればそれとおりに出来る。きちんと教育していかなくてはいけない。

#### 《その他》

- ・神社の緑を守って環境をよくしようという運動をやっている。全国規模でやっており、東京都でも何年か前からやっているが、江戸川区内の神社も協力している。
- ・自分が省エネしたということが見えてこないと続かない。コンセントを抜いたら、これだけ減ったというのが分かるのは、非常に大事な活動だと思う。
- ・それぞれの地域で色々なことに取り組むことが大事。それを組み合わせていくことで繋がっていく。環境をよくするとは細かいことを積み重ねるしかないし、CO2削減も一気に出来るものではない。

### ○ 事務局より提案事項

エコタウンえどがわ推進本部会議へ、エネルギー関連の専門家にアドバイザーとして参加していただく件。

→ 本部員の拍手により承認された。

### ○ 連絡事項

次回のエコタウンえどがわ推進本部会議は、平成23年1月ごろ開催予定。